

文末の「了」に関する分析 —日本語の「もう」と対照して—

A contrastive analysis of the Chinese sentence final *le* vis-à-vis the Japanese adverb *mou*

劉 琛琛

Liu Chenchen

はじめに

中国語文末に生じる助詞「了」についての研究はたくさんあり、その「了」の意味は「新しい状況の出現」とまとめられている（金立鑫 2003、刘勋宁 2001、刘月华 2000 など）。金立鑫（2003）はこの文末の「了」と共起する副詞によって、「了」が「将来起始／将来における開始」「現在起始／現在における開始」「現在起始或過去起始／現在又は過去における開始」「過去起始／過去における開始」を表すようになるとしている。「新しい状況の出現」説に対して、陳忠（2003）と沈家煊（1995）は文末の「了」によって「有界／限界性」が作り出され、更に、この「限界性」から、文脈によって「完全体／パーフェクティブ」、「過去時／過去時」、「先事時／先行時」など時制的意味、又は「変化／変化」「语气／語気、ムード」など文法的意味を派生するとしている。また、陳忠（2003）は文末に「了」が生じる場合、「発話時」を「基準時」とし、過去の出来事が現時点に及ぼす影響を表す以外に、主観的な評価と提示も表すとしている。陳氏の研究に述べられている文末の「了」が「発話時」を「基準時」とすることを含意することについては賛成するが、「基準時」が明示されない場合に限られると思われる。また、文末の「了」によって、過去の出来事が現時点まで影響を及ぼすことにも賛成するが、それも文に「基準時」が明示されない場合、又は、言及されることが現時点において完了した状態にある場合に限られると思われる。

劉琛琛（2005）は、中国語の「了」を3つに分けており、文中述語動詞の直後に生じる「了」を「了₁」とし、「了₁」と共起する文末の「了」を「了₃」とし、単独に文末に生じる「了」を「了₂」としている。即ち、劉の分類によると、文末に生じる「了」には2つある。「了₁」は動作の完了を表す完了相アスペクトマーカであるため、「了₁」と共起する「了₃」は単なる語气的意味を持つ語気助詞であるのに対し、「了₂」は単独に生起するため、動作の完了又は状態の変化というアスペクト的意味を持つ以外に、語气的意味を持つと述べられている。しかし、語气的意味の場合を除いて、文に時間を表すものがなければ、「了₂」によ

って状態が変化したというアスペクト的意味を表すと同時に、「現時点」を基準時となるということも含意するようになる。従って、「了₂」はアスペクト的意味を表すと同時に、現時点を含意するというテンス的意味（＝非過去）も表すと思われる。「完了」という意味はアスペクトだけではなく、テンスとも関わるので、「了₂」にあるテンス的意味とアスペクト的意味を「完了時制的意味」と名付けることにする。つまり、基準時が明示されない場合において、「了₂」の使用によって、「発話時」を基準時として、その基準時において先行事態から変化があることを表すので、「了₂」には、「発話時」というテンス的意味と「状態が変化した・する」というアスペクト的意味を合わせた「完了時制的意味」があると考えられる。

日本語においても、「了₂」のような、基準時が明示されなければ常に「発話時」を基準時として、その基準時において先行の事態から変化があることを表すものがあり、それは副詞「もう」である。「もう」はよく日本語会話表現に用いられ、時間副詞用法と量比較用法を持つ。また、時間副詞用法の「もう」には、話し手の主観的時間の早いか遅いかの判断を表す用法、所謂「主観的時間副詞用法」もある。特に、会話表現でよく使用される。これらの用法と意味から、「了₂」と「もう」の間に、共通しているところが多いように見られる。特に、基準時において状態変化があった・ある点では、両者が同じように見える。また、劉(2005)は「了₃」が語気助詞であると述べているが、「我在日本住了五年／日本に5年間住んでいた」と「我在日本住了五年了／もう日本に5年間住んでいる」の意味の違いから見れば、「了₃」の使用されるほうが発話時と関連しているように感じられることから、「了₃」にも「了₂」と「もう」のような、完了時制的意味があると考えられる。従って、本稿では、日本語の「もう」と対照して、中国語文末助詞「了」の意味と用法について更に考察したい。

1. 日本語と中国語のテンス・アスペクト表現

日本語の場合も中国語の場合も、時間を表す名詞（昨日／昨天、明日／明天、来年／明年…）と副詞（さっき／刚才、これから／此后、すぐ／马上…）などがあって、それらによってテンスを表す。しかし、時間を表す名詞や副詞が生じなくてもテンスが表せる日本語に対して、中国語はそれらの名詞や副詞がなければテンスが表現できない言語である。

工藤真由美(2002)によって、時間を表す名詞や副詞が生じない文における日本語のテンスとアスペクトの表し方について、次のような表が作成されている。

時間的限定性 アスペクト テンス	個別・具体的			抽象的
	完成相	継続相	パーフェクト相	反復相
未来	スル	シテイル	シテイル	スル
現在	/	シテイル	シテイル、シタ	スル、シテイル
過去	シタ	シテイタ	シテイタ	シタ、シテイタ

(工藤真由美 2002, p. 182)

表 1

表 1 から分かるように、日本語においては、文に時間を表す名詞や副詞などが生じない時、動詞の語尾変化でテンスとアスペクトを表すことができる。例えば、テンスの面において、動詞のスル形(普通形)によって非過去テンスを表すのに対し、動詞のシタ形によって過去テンスを表すことができる。アスペクトの面において、動詞のシテイル形によって未来パーフェクト相を表したり、動詞のシテイル形とシタ形によって現在パーフェクト相を表したりして、動詞のシテイタ形によって過去パーフェクト相を表す。

しかし、中国語の場合、動詞の語尾変化がないため、テンスを表すのに、時間を表す名詞や副詞に頼るしかないと思われる。アスペクトも日本語のように補助動詞構文によって表されることができず、動詞の後に付加される助詞によって表される。例えば、完了相を表すのに、動詞に助詞「了」を付加し、継続相を表すのに動詞に助詞「着」を付加し、経験相を表すのに動詞に助詞「过」を付加するなど。

従って、文に時間が明示されない場合において、日本語と中国語のテンスとアスペクト表示に対してまったく異なる実現が観察される。極端に言うと、日本語の場合、動詞の形からテンスとアスペクトが判断できるが、中国語の場合、動詞に付加される助詞によってアスペクトは判断できるとしてもテンスが判断できない。しかし、次の中国語例文において、文に基準時が明示されなくても、文末の助詞「了」によって「発話時」という非過去のテンスが判断できるように見える。

(1) a. xià yǔ le
下雨了。

雨だ／雨が降っている。

b. ?? xià yǔ
?? 下雨。

?雨、降れ!

(2) a. ^{wǒ jiéhūn le} 我结婚了。

結婚している。

b. ?^{wǒ jiéhūn} 我结婚。

私は結婚する。

(3) a. ^{wǒ mǎi le diànyǐng piào le} 我买了电影票了。

映画のチケットを買った。

b. ?^{wǒ mǎi le diànyǐng piào} 我买了电影票。

映画のチケットを買った。

前述したように、中国語の場合、時間を表す名詞や副詞などでテンスを表し、動詞に付加される助詞によってアスペクトを表すため、文にテンスもアスペクトも表すものがなければ、発話される事件のテンスとアスペクトが不明になる。ただし、命令文(例文1のb)などの場合であると、テンスとアスペクトを表すものがなくても成立できる。従って、例文(2)と(3)のbは、一般的に正しい文として認められないが、特定な場合、例えば、質問に対する答えなど、つまり、前文によってテンスとアスペクトが判明できる場合であれば成立できる。しかし、例文(1)～(3)のaの文はいずれも自然な文である。aとbの違いは文末に助詞の「了」が使用されるか否かという点である。この文末の「了」は、所謂、はじめに述べた「新しい状況の出現」、「限界性を作り出す」、「語気」などを表すと言われている助詞である。しかし、例文(1)と(2)で観察できるように、文末の「了」の使用により、「発話時」が含意されるように見える。つまり、発話時が基準時になって、発話時における状態が変化したことを表している。例えば、発話時において、「雨が降っていない」状態から「雨が降っている」状態(例文1)に変わり、「結婚していない」状態から「結婚している」状態(例文2)になることを「了₂」によって表す。例文(3)には、文中に完了相アスペクト助詞「了₁」が使われているため、文末に生じる「了」は「了₃」になるが、この「了₃」にも発話時において「チケットが手に入っている」状態であるというテンス的意味とアスペクト的意味があるように観察できる。bの文は一般的に成立すると認められていない¹⁾が、疑問文「你买了什么? / 何を買った?」の答えである場合は成立する。

日本語において、文末の「了」と似ている、基準時が明示されなければ常に「発話時」を基準時として、その基準時において先行事態から変化「あり」を明示するものがある。それは副詞の「もう」である。次節から、中国語の助詞「了₂」、「了₃」と日本語の副詞「もう」の間にある相違から文末の「了」を考察する。

2. 基準時が明示されない場合の「了₂」

「了₃」は、使用条件として文中に「了₁」の使用が必要であることから、「了₂」の使用頻度より低いと考えられる。従って、まず、使用頻度の高い「了₂」から考察を行うことにする。基準時が明示されない場合、「了₂」の使用状況は次のようになる。

まず、発話時において状態が変化したことを表す場合である。これはもっとも多く使用される場合であると思われる。

(4) 我^{wǒ} 饿^è 了^{le}。

- a. お腹が空いた。
- b. もうお腹が空いた。

(5) 他^{tā} 死^{sǐ} 了^{le}。

- a. 彼が死んでいる。
- b. 彼がもう死んでいる。

(6) 他^{tā} 走^{zǒu} 了^{le}。

- a. 彼が行った。
- b. 彼がもう行った。

(7) 樱^{yīng} 花^{huā} 开^{kāi} 了^{le}。

- a. 桜が咲いている。
- b. 桜がもう咲いている。

(8) 我^{wǒ} 考^{kǎo} 上^{shàng} 大^{dà} 学^{xué} 了^{le}。

- a. 入学試験に合格している。
- b. 入学試験にもう合格している。

(9) 我^{wǒ} 到^{dào} 车^{chē} 站^{zhàn} 了^{le}。

- a. 駅に着いている。
- b. もう駅に着いている。

(10) 我^{wǒ} 忘^{wàng} 了^{le}。

- a. 忘れた。
- b. もう忘れた。

(11) 我^{wǒ} 懂^{dǒng} 了^{le}。

- a. 分かった。
- b. もう分かった。

例文(4)～(11)の例文はいずれも「了₂」によって「発話時」において先行事態から変化があり、変化した後の状態になっていることを表す例文である。つまり、基準時が明示されない場合において、「了₂」の使用により、「発話時」というテンス的意味が作り出される同時に、発話時において動詞又は形容詞によって表される状態に変化が生じたというパーフェクトなアスペクト的意味を表すので、「了₂」には現在完了時制的意味があると言える。

しかし、日本語に訳されると、「もう」が生じる表現にも生じない表現にもなり得る。日本語の「もう～している」は、通常、「発話時」を強調する「結果状態」を表す表現であるのに対し、「もう～した」は「たった今」という近接過去の事態を表す表現²⁾であり、更に、その変化を観察したというニュアンスがある。また、会話文の中に用いられる「もう」には発話者の「期待」、「失望」、「うんざり」など気持ちが含まれる場合が多い。例えば、例文(10)と(11)の日本語の文の場合、「もう」が生じる文と生じない文を比較してみると、「もう」が生じる文のほうは発話者が相手に対する「いや」、「うるさい」などの気持ちが感じられる。しかし、中国語の場合は、「もう」にある「発話時」に対する強調の意味は「了₂」で表されるが、発話者の気持ちは「了₂」で表されずに、文のどの成分にストレスを置くかによって表されるようになる。即ち、こういう場合において、「了₂」は「発話時」において先行事態から変化があったというテンス的とアスペクト的意味を同時に表すことは可能であるが、「もう」のような同時に発話者の気持ちを表すことはできない。

続いて、同じく基準時が明示されない場合であるが、「了₂」が時制的意味ではなく、「注意喚起」など語气的意味を表す例文を見てみる。

(12) ^{wǒzǒule}我走了。

そろそろ失礼します。

(13) ^{wǒhuíqùle}我回去了。

そろそろ帰ります。

このような例文は非常に少なく、例文(12)と(13)が代表的な文である。基準時が明示されない文に「注意喚起」を意味する「了₂」の生起条件は2つあり、1つは主語が第一人称でなければならないことであり、もう1つは発話者が今から行う自分の行動に対して皆の注意を集めたいという意味を表す場合である。この2つの条件を同時に満たさないと、「了₂」は「注意喚起」の意味にならない。例えば、日本語の場合、「彼はもうそろそろ帰ります」というような文を中国語に変えると、「他要回去了」になり、つまり、近接未来を

表す副詞「要」が必要になる。「要」がない文「他回去了」になると、「彼が帰りました」という意味になり、つまり、「了₂」が「注意喚起」ではなく、完了時制的意味になる。

また、「了₂」は「注意喚起」という語气的意味以外に、「驚き」、「喜び」、「失望」、「心配」などの語气的意味を表すこともできる。

tàihǎole
(14) 太好了! (喜び)

最高!

もう最高!

tàikuàile
(15) 太快了! (驚き)

早い!

zāole
(16) 糟了! (心配)

しまった!

cǎnle
(17) 惨了! (心配)

しまった!

wánliǎo
(18) 完了! (失望)

もう終わりだ!

例文(14)～(17)のように、「了₂」が「驚き」、「喜び」、「失望」、「心配」などの語气的意味を表す場合、「了₂」の前に生じるものはいずれも形容詞である。積極的意味の形容詞の場合には、副詞「太/非常に、とても」の使用が必要であるが、消極的意味の形容詞の場合には「太」の使用が認められない³⁾。例文(18)の「了₂」の前に生じる「完/終わる」は元來動詞であるが、ここでは形容詞の働きをし、「了₂」と共に起して「失望」を表す。ただし、例文(14)～(18)はいずれも口語的な表現である。

「了₂」は「注意喚起」という語气的意味を表す場合でも、「驚き」、「喜び」、「失望」、「心配」など語气的意味を表す場合でも、「発話時」における発話者の気持ちを表すと考えられる。つまり、「了₂」が語气的意味を表す場合においても、「発話時」というテンス的な意味を持つ。アスペクト的意味を持たないため、このような場合の「了₂」が時制的意味を持つとは言えないが、「現在」というテンスの意味は相変わらず観察される。

3. 基準時が明示される場合の「了₂」

前節で述べたように、基準時が明示されない場合、「了₂」によって「発話時」を基準時

として、基準時において先行の事態から変化があったという時制的意味を表す。すると、基準時が明示される場合、他の時間名詞や副詞で基準時を表すので発話時が基準時とならないことを考えると、「了₂」のテンス的意味がなくなると予測されるが、これについて本節で考察する。

3.1 時間名詞によって基準時が表示される場合

中国語の場合、時間を表すのに時間名詞か、時間を表す副詞を用いる。まず、時間名詞で基準時を示す場合について見てみる。

(19)a. *昨天下雨。(過去)

b. 昨天下雨了。

昨日、雨が降っていた。

(20)a. *去年下雨。(過去)

b. *去年下雨了。

(21)a. 很久以前我看过这个电影。(過去)

遠い昔にこの映画を見た。

b. *很久以前我看过这个电影了。

(22)a. 明天开会。(未来)

明日は会議がある。

b. *明天开会了。

(23)a. 2年以后我大学毕业。(未来)

2年後大学を卒業する。

b. *2年以后我大学毕业了。

基準時が明示されない場合において、「了₂」によって発話時において状態が変化した、または動作が完了したという現在完了の時制的意味を表すことを明らかにした。基準時が時間名詞によって示される場合において、発話時と関連性のある場合にのみ「了₂」の使用が認められることが例文(19)～(23)から観察できる。例文(19)と例文(20)は同じく「雨が降った」ことに対する表現であるが、時間名詞が「昨日」であれば「了₂」の使用が可能であるが、時間名詞が「去年」になると「了₂」の使用が不可能になる。それは、「昨日」という時間が「現在」と時間的な関連性があるからであると考えられる。すると、「現在」と時間的な距離が近ければ近いほど「了₂」の受容度が高いと言えるから、「了₂」は相変わ

らず現在完了の時制的意味を持つ。例文(20)と同様なことは例文(21)にも観察される。しかし、例文(22)と(23)のように、未来テンスを表す時間名詞が生じる場合、事柄がまだ発生していないため、完了の意味を持つ「了₂」と矛盾する。

しかし、ある特定な時間を強調して、その特定された基準時の状態を言う場合、「了₂」の使用が可能になる。例えば、例文(19)～(23)を次のように変えると、いずれも自然な表現になる。

(19) ’ zuótiānjiùxiàiyǔle
昨天就下雨了。

昨日はもう雨が降っていたよ。

(20) ’ qùniánnàgèshíhòujiùxiàiyǔle
去年那个时候就下雨了。

去年のその頃はもう雨が降っていたよ。

(21) ’ hěnjiǔyǐqiánwǒjiùkànguòzhègèdiànyǐngle
很久以前我就看过这个电影了。

遠い昔にはもうこの映画を見ていた。

(22) ’ míngtiānjiùkāihuìle
明天就开会了。

明日はもう会議だよ。

(23) ’ niányǐhòuwǒjiùdàxuébìyèle
2年以后我就大学毕业了。

2年後はもう大学卒業しているよ。

「時間名詞+就+了」という組み合わせが揃うと文末の「了」は「発話時」ではなく「基準時」の状態になる。その場合、文末の「了」は「過去完了(例文(19)′～(21)′)」、「未来完了(例文(22)′、(23)′)」を表す機能を持つことになる。例文(20)′の場合、「去年」という範囲が「雨が降る」ことに対して広いから、特定されにくいと思われるが、「去年のその頃」に変えれば特定できるようになる。また、「就」によって、通常、会話文に使われる主観的時間判断の意味を持つ「もう」と同様に、発話者が発話される事態に対する時間的に「早い・遅い」という主観的判断の意味が表される。ただし、「もう」と同様にストレスを置くことが一般的である。

従って、基準時が時間名詞などによって明示される場合においても「了₂」は完了の意味を持つので、過去テンスの文にのみ用いることができる。ただし、すべての過去テンスの文ではなく、「了₂」には「発話時」を含意しているため、「発話時」と時間的な関連性のある時間名詞によって表される過去テンスに限る。しかし、特定された基準時の状態を表す場合、つまり、「時間名詞+就+了」の組み合わせが揃うと、「了₂」が時間名詞によって示される「基準時」の状態を表すようになる。この場合において、「了₂」は「過去完

了」、「現在完了」、「未来完了」という時制的意味になる。即ち、「了₂」は「発話時」と時間的な関連性のない基準時の時間名詞と共起するために副詞「就」が不可欠であると言える。

日本語の場合において、時間副詞用法の「もう」は特定時点を指示する文法的機能を持ち、進行相、完了状態相、状態相、経験相などアスペクトと共起できるし、現在テンスと未来テンスとも共起できる。しかし、「もう」は現在テンスと共起する場合、通常、動詞のテイル形と共起することが多いが、直接経験ムードの場合にのみ動詞のシタ形と共起できる。また、未来テンスと共起する「もう」は、ムード的な意味を含意し、意志未来・推量・命令依頼・義務許容など意味で使われることが多い。ゆえに、「もう」は一般的に他の時間指示句と共起しにくい。時間指示句の表す時間を特定する場合、また、その特定された時間における状態を話す場合であると、「もう」の使用が可能になる。例えば、例文(20)を「去年のその頃にはもう雨が降っていた」という過去のある特定の時間の状態を表す文に変えると、「もう」の使用が可能になる。しかし、未来テンスと共起する「もう」は、通常、意志未来・推量・命令依頼・義務許容などの意味で用いられるため、例文(22)と(23)のような意志未来・推量・命令依頼・義務許容などの意味がないスル形動詞の文になると、「もう」の使用は認められないと思われる。

3.2 時間副詞によって基準時が表示される場合

基準時を表示するのに時間名詞を用いるほか、時間副詞の使用もよく見られる。

(24) a. *他早到。(過去)

b. 他早到了。

彼がもうとつくに着いている。

(25) a. 他曾经去过美国。(過去)

彼がアメリカに行ったことがある。

b. 他曾经去过美国了。

(26) a. 他正来着。(現在)

彼が今来ているところだ。

b. 他正来着了。

彼がもう来ているところだ。

(27) a. 看样子花要开。(未来)

見たところ、花が咲くだろう。

kānyàngzihuāyàokāile
b. 看样子花要开了。(将然)

花がもう咲く。

wǒyàoqùchēzhàn
(28)a. 我要去车站。(未来)

駅に行く。

wǒyàoqùchēzhànle
b. 我要去车站了。(将然)

もう駅に行く。

kuàishēng
(29)a. ?快生!

?産め!

kuàishēngle
b. 快生了。(将然)

もう産む。

tājiùzǒu
(30)a. 他就走。(近接未来)

彼がもう行く。

tājiùzǒuleya
b. 他就走了呀。(現在パーフェクティブか将然)

彼がもう行ったの? / 彼がもう行くの?

例文(24)と(25)には過去を表す副詞「早／とっくに」「曾经／かつて」が用いられるのに対し、例文(26)には現在を表す副詞「正／ちょうど今」が用いられる。また、例文(27)～(30)には未来を表す機能を持つ副詞「要・快・就」が用いられている。過去を表す副詞が用いられる例文(24)と(25)はすでに完了した動作又は事態を言う文であるため、完了を表すものが必要になる。例文(25)の動詞に経験相のアスペクト助詞「过」が使われているから、「完了」という意味が表されている。ゆえに、文末に「了₂」が生じなくても文の根源的意味には影響しない。「了₂」が使用される場合、過去のある経験が発話時まで影響を及ぼすという意味を作り出すため、この場合の「了₂」にはアスペクト的意味を失い、テンス的意味のみ表すと思われる。例文(21)も経験を表す表現であるが、「了₂」の使用が認められない理由は、時間名詞によって基準時が明示されるのと異なり、「曾经」という時間副詞は過去の時間を表すが、過去の限定された時間ではなく、発話時まで過去という幅広い時間帯を表すから発話時との関連性が高いと思われるためである。経験相アスペクト助詞が生じる例文(25)に対して、例文(24)のaには、完了という意味を表すものがないから成立しないが、bのように文末に「了₂」を用いると、「了₂」の意味特性により完了というアスペクト的意味を表すと同時に、「発話時」まで状態が続いているというテンス的意味も表す。

過去テンスと現在テンスを表す副詞が使用される場合と同様に、例文(27)～(30)から観察されるように、未来テンスの意味を持つ副詞が生じる場合においても「了₂」の使用が自由である。しかし、例文(24)～(26)と異なり、未来テンスを表す副詞と共起する「了₂」は発話時において状態が変化した意味を表すわけではなく、将然相の意味がある。Comrie (1976)『アスペクト』の「Perfect」の項に、過去を現在と関係付ける「Perfect」に対して、未来を現在に關係付ける「Prospective」(将然相)の記述がある。英語では、「be going to」「be about to」で表すとしている。例えば、英語の「He is going to jump off the cliff. / 彼が崖から飛び降りようとしている」が「He will jump off the cliff. / 彼が崖から飛び降りるだろう」と異なり、前者は将然相であるのに対し、後者は未来形である。つまり、将然相も未来の事柄を表す表現であるが、「現在」との関わりが深いという点においては未来形と異なる。英語と同様なことが中国語にもあり、例文(27)～(30)から観察されるように、副詞「要・就」は未来形を現す表現であるが、将然相を表すことができない。これらの副詞と同時に「了₂」を用いたら、将然相の意味になる。即ち、副詞「要・就」は英語の「will」に相当し、「要・快・就～了」は英語の「be going to」「be about to」に相当するように思われる⁴⁾。前節で、日本語の「もう」が未来テンスと共起するときに、一般的に意志未来・推量・命令依頼・義務許容などの意味を表すことが多いと述べたが、上記の例文から将然相の意味もあるように考えられる。しかし、未来テンスを表す副詞と共起する「了₂」と異なり、必ずしも将然相を表せず、近接未来も表すことができる。例えば、「花がもう咲く」は近接未来と言えし、将然相も言える。そこで、「了₂」が未来テンスを表す副詞と共起する場合には、日本語に変えるときに「もう」が普通生じるが、「もう」が未来テンスと共起する場合には、「了₂」が必ず生じるとは言えない。

しかし、例文(29)の a の文は未来形の意味ではなく、催促の意味になる。副詞「快」は未来を表すときに「了₂」の使用が必要となる。「了₂」がなければ、「快」の意味が変わり、催促の「早く」「さっさと」という意味になる。また、例文(30)の b の文で観察できるように、「就」と「了₂」が共起する場合、将然相を表す以外に、現在パーフェクティブの意味にもなる。その理由は副詞「就」の意味の多様性であると思われる。副詞「就」の表す意味について、呂叔湘(1980)は次のように述べている。

- 1) 表示很短时间以内即将发生。(近い内に発生する)
- 2) 强调很久以前已经发生。“就”前必有时间词语或其他副词。(遠い昔、すでに発生したのを強調する。“就”の前に時間名詞や他の副詞が必要である)
- 3) 表示两件事紧接着发生。(2つの事態が相次いで発生する)

- 4) 加强肯定。(肯定を強める)
- 5) 确定范围; 只。(範囲を確定する。ただ)
- 6) 强调数量多寡。(数量の多さと少なさを強調する)
- 7) 表示承接上文, 得出结论。(前節を受けて後節に続いて結論を出す)

即ち、副詞「就」は近接未来を表すこともできるし、発生したことを強調することもできる。近接未来を意味する「就」の例文(30)aには、他の近接未来を表す副詞と異なり、「了₂」の使用は必要であるが、かなり口語的な表現で、2回繰り返して言うことが多い。しかし、例文(30)bのような文、つまり「了₂」が生じる文になると、「就」の意味が曖昧になる。「了₂」によって「発話時」というテンス的意味を表すことができるが、アスペクト的意味は前後の文又は他の時間名詞などによって判断するしかない。もし、文にテンスやアスペクトを明示するものがあれば、「就」は明示されるテンス又はアスペクトを強調するようになる。例えば、「你就吃了饭了? / もうご飯を食べたの?」、「1996年你就毕业了? / 1996年にはもう卒業していたの?」、「2年后你就毕业了。 / あなた、2年後にはもう卒業です」のような文であると、「就」によって「食べた」という完了相アスペクト、「1996年」という過去テンス、「2年後」という未来テンスが特定され、時間名詞によって表された時間が「基準時」になるように思われる。この場合において、「就」と共起する文末の「了」は変わる。文中に完了相アスペクト助詞「了」があり、基準時が明示されない場合には、文末の「了」が「了₃」になり、「発話時」というテンス的意味しか持たないが、「了₁」が生じずに時間名詞又は時間副詞によって基準時が明示される場合には文末の「了」が「了₂」になり、特定された時点(=基準時)において状態が変化した / するというもっぱら「過去完了」、「現在完了」、「未来完了」の機能を持つようになる。

まとめると、時間副詞によって基準時が明示される場合においては次のことが分かった。まず、過去テンスを表す時間副詞は特定の時間を表さないので、「了₂」の使用が可能である。時間名詞によって基準時が明示される場合と同様に、過去の事態を表す時に「完了」という意味を表すアスペクト助詞が必要である。「完了」を表す助詞がなければ、「了₂」は現在完了の時制的意味になるのに対し、完了の意味を表すものがあれば、「了₂」はアスペクト的意味が失い、テンス的意味のみ持つようになる。現在を表す時間名詞又は時間副詞によって基準時が明示される場合においても、発話時との関連性が高いので、「了₂」は完了時制的意味を持つ。次に、未来テンスを表す副詞と共起する場合、「了₂」が依然として時制的意味を表すが、現在における変化の完了という完了時制的意味ではなく、「将然」

の意味を表すようになる。日本語の「もう」との対応関係については、「了₂」が未来テンスを表す副詞と共起する場合には、日本語に変えるときに「もう」が普通生じるが、「もう」が未来テンスと共起する場合には、「了₂」が必ず生じるとは言えない。しかし、「時間副詞(名詞)+就+了」の組み合わせが揃う場合において、文末の「了」は現在完了の時制的意味ではなく、「過去完了」「現在完了」「未来完了」の意味を表すようになる。この場合の「了」も「もう」に対応するように思われる。

3.3 禁止命令を表す副詞と共起する「了₂」

中国語に、禁止命令に使われる副詞があり、「了₂」と共起することが多い。禁止命令に使われる副詞には、主に「別／～するな」、「不要／～するな」、「不能／～してはいけない」、「不可以／～してはいけない」、「不许／～してはいけない」、「不准／～してはいけない」、「禁止／禁止する」などがある。

(31)a. ^{biéchīle} 别吃了!

もう食べるな!

b. ^{biéchī} 别吃!

食べるな!

(32)a. ^{búyào chīle} 不要吃了!

もう食べるな!

b. ^{búyào chī} 不要吃!

食べるな!

(33)a. ^{bùnéng chīle} 不能吃了!

もう食べてはいけない!

b. ^{bùnéng chī} 不能吃!

食べてはいけない!

(34)a. ^{búkěyǐ chīle} 不可以吃了!

もう食べてはいけない!

b. ^{búkěyǐ chī} 不可以吃!

食べてはいけない!

(35)a. ^{bùxǔ chīle} 不许吃了!

もう食べてはいけない!

bùxǔchī
b. 不 许 吃！

食べてはいけない！

bùzhǔnchīle
(36)a. 不 准 吃 了！

もう食べてはいけない！

bùzhǔnchī
b. 不 准 吃！

食べてはいけない！

jìnzhǐxīyānlè
(37)a. *禁 止 吸 烟 了！

jìnzhǐxīyān
b. 禁 止 吸 烟！

喫煙禁止！

以上の例文から一目瞭然なように、禁止命令を表す副詞がほとんど「了₂」と共起することができる。これらの副詞と共起する「了₂」は依然として発話時における状態変化を表し、時制的用法を持つ「了₂」である。例文(30)～(36)に観察できるように、「了₂」が使用されるほうは、発話時まで続いている状態からそうではない状態への変化が要求されていることが分かる。つまり、「食べていた状態」から「食べていない」状態への変化を「了₂」によって表すようになる。禁止命令は一種の近接未来テンスの表現であると思われるため、禁止命令と共起する「了₂」は近接未来を表す副詞と共起する「了₂」と同様に、日本語の副詞「もう」と同じ意味を表すと言える。

また、日本語の「もう」において、「もう泣くな！」は今泣いている人に向かって「泣き止みなさい」という意味を表すのに対し、「もう行くな！」は行ったことがある人に向かって「二度と行くな」という意味、或いは行こうとしている人に向かって「行くな」という意味になる。即ち、同じく禁止命令の文であるのに、文脈によって「もう」が「二度と」という意味を作り出すことができる。しかし、中国語の場合、文末の「了₂」が「二度と」という意味を作り出すことができず、副詞「再」によって表すことになる。例えば、「もう泣くな」を中国語に変えると「別哭了」になるのに対し、「もう行くな」は「别再去了」と「别去了」になり、「再」が用いられるほうが「二度と行くな」の意味になる。つまり、「二度と」を意味場合において、「了₂」と「もう」が完全に対応するとは言えない。

例文(37)には「了₂」の使用が認められない理由は、「禁止」という副詞は一般的に文書語として用いられ、特にスローガンに用いられる副詞であるため、通常、口語に用いられる「了₂」とは合わないのである。

従って、禁止命令と共起する「了₂」も時制的意味を表す「了₂」であり、基本的に未来

テンスと共起する「もう」に相当するが、例外もある。

4. 「了₃」

この節では、「了₃」について詳しく考察する。

まず、「了₃」の生起条件として、文中に動作の完了を表す完了相アスペクト助詞と共起し、文末に生じることが要求される。ゆえに、「了₃」は完了の意味を持つ文にのみ生起すると思われる。続いて、基準時が明示される文と明示されない文に生起する「了₃」について考察する。

(38)a. tāgěiwǒdǎlediànhuàle
他给我打了电话了。

彼がもう電話してくれた。

b. tāgěiwǒdǎlediànhuà
他给我打了电话。

彼が電話してくれた。

(39)a. wǒzàirìběnzhùle niánle
我在日本住了5年了。

日本にもう5年住んでいる。

b. wǒzàirìběnzhùle nián
我在日本住了5年。

日本に5年住んでいた。

(40)a. zuótiāntāgěiwǒdǎlediànhuàle
昨天他给我打了电话了。

昨日、彼が電話してくれたんだ。

b. zuótiāntāgěiwǒdǎlediànhuà
昨天他给我打了电话。

昨日、彼が電話してくれた。

(41)a. *niánqiánwǒ qùleyí cì běijīng le
*3年前我去了一次北京了。

b. niánqiánwǒ qùleyí cì běijīng
3年前我去了一次北京。

3年前に一回北京に行った。

(42)a. *wǒyào chīle fàn le
*我要吃了饭了。

b. *wǒyào chīle fàn
*我要吃了饭。

(43)a. *biémǎile diànyǐng piào le
*别买了电影票了。

b. *biémǎile diànyǐng piào
*别买了电影票。

まず、基準時が明示されない例文 (38) と (39) においては、「了₃」が使用され、発話時を基準時として、その基準時において先行の事態から変化があったことという時制的意味を表す。例文 (38) と (39) の a と b を比べてみると分かるが、「了₃」が用いられる文には「発

話時」というテンスを感じられるのに対し、「了₃」が用いられない文には「発話時」というテンス的意味を感じられない。つまり、「了₃」が用いられない場合において、発話された事態が発話時との関わりがないように思われる。

続いて、基準時が明示される例文(40)～(43)から観察されるように、まず、すでに完了した事態の場合、発話時と関わる場合にのみ「了₃」の使用が認められる。また、未来の事態においては、後節がない限り、完了相アスペクトマーカ―「了₁」が用いられないため、「了₃」の生起が当然認められない。

従って、文末に生じる「了」は「了₃」である場合、「了₂」と同じように発話時における状態を表すので、語气的意味ではなく、時制的意味のほうを表すと思われる。また、「了₂」と同様に、基準時が明示されない場合には、発話時を意味するため、日本語の「もう」に相当するが、基準時が明示される場合には、過去テンスを表す時間名詞又は時間副詞と共起できるが、発話時と関わる事態に限られ、日本語の「もう」に相当しないと思われる。

終わりに

本稿では、文末に生じる「了」について、日本語の副詞「もう」と比較しながら考察した。従来の研究において、文末に生じる「了」が持つ「発話時」というテンス的意味についてほとんど触れていないようであるが、本研究を通じて、文末に生じる「了」は状態変化というアスペクト的意味を表す同時に、「発話時」というテンス的意味も表すことが明らかになった。また、「注意喚起」、「驚き」、「喜び」、「失望」、「心配」など語气的意味を表す「了₂」にも「発話時」が含意されるように思われる。更に、「了₁」と共起する「了₃」は、劉(2005)によって語气的意味しか表さない語気助詞であると述べられているが、本研究を通じて、「了₃」は語気助詞ではなく、「了₂」と同様に時制的意味を持つ助詞であることを判明した。

日本語の副詞「もう」には時間副詞用法と量比較用法があるが、中国語文末の「了」には時間的用法しかないので、時間副詞用法の「もう」とのみ共通点を持っていると思われる。また、「もう」には主観的時間判断用法があり、会話文によく観察されるが、「もう」のこの用法は中国語の副詞「就」に似ていると思われる。

注

- 1) 木村英樹(1997)は、「了₁」が「理想的な完了表現を構成するにあたって、“了”と結びつく述語形式は[+限界性]もしくは[+変化性]という特性を備えていることが要求される」と述べている。

- 2) 「もうした」が「たった今した」という意味になるのは、{もうした}のように発音されるときである。同じように、「もうする」には近接未来と将然相の意味があり、{もうする}は近接未来の意味であるのに対し、{もう}{する}は将然相の意味になる。
- 3) 「太惨了/とても悲惨だ」のように、「了₂」の前に消極的意味を表す形容詞「惨／悲惨」が用いられ、更に副詞「太」を用いても成立するが、この形容詞に限られている。
- 4) 英語との対応関係について更に考察する必要があると思われるが、本稿の考察内容と異なるため、本稿では取り扱わないことにする。

参考文献

- Comrie Bernard (1976) *Aspect*. Cambridge University Press. 『アスペクト』むぎ書房. 山田小枝訳
- 陳忠 (2003) 「从“了” de 句法分布规律及其认知理据看汉语的时体特征」『汉语时体系统国际研讨会论文』
- 金立鑫 (2003) 「“S了”的时体意义及其句法条件」『语言教学与研究 2003. 2』北京语言大学出版社 pp.38～48.
- 木村英樹 (1997) 「動詞接尾辞“了”の意味と表現機能」『大河内康憲教授退官記念中国語学論文集』1997.3 東方書店
- 工藤真由美 (2002) 『アスペクト・テンス体系とテキスト——現代日本語の時間の表現』ひつじ書房
- 劉琛琛 (2005) 「日本語の「た」と中国語の「了」との対照研究」熊本大学文学研究科修士論文
- 劉勳寧 (2001) 于康・中山裕三訳「現代中国語の語尾「了」の文法的意味」『中国語言語学情報 3 テンスとアスペクト』好文出版 pp.53～88.
- 刘月华・潘文娛 (2000) 相原茂等訳 『現代中国語文法総覧』くろしお出版
- 吕叔湘 (1980) 『现代汉语八百词』商务印书馆